



大切にされた子は 自信をつけ 成長する

校長 井口 修

先日、算数の授業でこどもたちから A、B、C、と3つの考え方が出ていました。A、B、はごく少数派、Cが大多数派でした。こどもたちはこの先どうするのだろう。私はワクワクしながら様子を見ていました。すると、Aの子が「少数派だけれどチャレンジする。」と発表を始めました。しかし、途中でつじつまが合わなくなり、涙がポロリ……。周りの子のあたたかいことばに支えられ、Aの子は席に着きました。

Bの子はどうするのか、自分の考えを取り下げるかな、と思いきや、Bの子も「チャレンジしてみる。」と発表を始めました。周りのこどもたちは、一生懸命聞いていました。

最後にCの子の発表がありました。最終的にCの考え方に全員が落ち着きました。

なぜ、ごく少数派にもかかわらず、次々とチャレンジできるのか……。教室を見ていて理由が分かりました。それは、皆が発表者を大切にしていたからです。

放課後、私はこどもたちのノートを借り、振り返りを見せてもらいました。すると、「Aの子が発表をして頑張っていた。」と、チャレンジする心意気を認める記述や、「私は、Bの子の発想がすごいなと思いました。」と、自分と異なる発想を賞賛する記述がありました。発表者のことを大切にしている、と私はとてもうれしい気持ちになりました。

さて、2月はふれあい月間です。自分のことも相手のことも、同じように大切にできる月間です。上記の教室のように、頑張っている姿を認めたり、自分と違う考えや価値観も大切にしたりする感性を育てていきます。その感性がやがて、あたたかい地域をつくったり、平和な世の中をつくったりすることにつながる、と思います。

後日、教室をのぞくとAの子もBの子も手を挙げ、笑顔で発表していました。ホッとした私は「どう？」と聞いてみました。すると、「もう分かった。いい感じ。」「難しい時もあるけれど大丈夫。」と明るい表情で応えてくれました。大切にされた子は自信をつけ、成長する、と感じました。



2月の生活目標

「寒さに負けず、体を動かそう」

寒さの厳しい日が続く、風邪やインフルエンザなどの感染症が流行する季節です。マスクや手洗いなどの予防が考えられますが、体の抵抗力を高めることも大切です。そのためには、適切な食事や睡眠、そして運動です。八小では、割り当てになっている日の中休みは、全員外で遊ぶことになっています。寒さに負けず元気に体を動かし、風邪やインフルエンザに負けない、健康な体づくりを行っていきます。

生活指導主任

『わかば教室』から

今年度も、4月に3・5年生、9月に1年生の各学級で、わかば教室の巡回指導教員による1時間の理解授業を行いました。

わかば教室のことをよく知るための【O×クイズ】、わかば教室で実際に行っている【見るトレーニング】【聞くトレーニング】【友達と仲良くするための学習】を体験しました。

自分の得意なこと・苦手なことへの自己理解を深めながら、どの学習にも意欲的に挑戦していました。児童の感想を紹介します。

「わかばでは、学校生活と同じくらいのペースじゃなくても、自分のペースでやれるんだなと思った。(3年)」

「コミュニケーションの勉強でみんなと相談しながら「相手のことを意識」できたので力が付くと思うし、楽しかったです。(5年)」

わかば教室では、今回の授業と同様に、得意なことはもっと伸ばし、苦手なことは少しずつ頑張ることを目標に取り組んでいます。八小の児童全員が互いの良さを理解し、尊重しようとする態度や行動力を身に付けていけたらと考えています。

【転出・転入について】

年度末に向けて、転出のご予定がある方は、できるだけお早めに担任までお知らせください。

また、周囲で転入の情報などご存じでしたら、学校までお知らせいただくとありがたいです。よろしくお願いいたします。